

**CONTENTS**

- 活動報告・各種会議議事録
- 第39回大会報告
- 会員異動
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議等の詳細
- 平成27・28年度日本農薬学会役員選挙次期役員候補者の推薦受付について「郵送投票」の申請について
- 日本農薬学会第40回大会の御案内 広告・展示・ランチョンセミナーの募集について
- 設立40周年記念事業への寄付のお願い

平成25年度第6回常任評議員会議事録

日時：平成26年3月12日（水）12:00～14:00
場所：京都大学農学部・旧演習林事務室
出席者：会長，副会長，常任評議員，第40回記念大会委員長 計13名

議事：

- I. 平成25年度第5回常任評議員会議事録について確認した。
- II. 経過報告および議事

1. 大会関係

- ・第39回京都大会の準備状況について大会実行委員長から報告があった。
- ・第40回評議員会資料および進行について確認した。
- ・第39回通常総会資料および進行について確認した。

2. 財務関係

- ・平成25年度収支について総会資料の内容を確認した。
- ・平成25年度会計の監査が平成26年2月17日実施され、監査の結果、事業報告および決算が的確であった旨報告があった。
- ・平成26年度予算案について総会資料の内容を確認した。

3. 編集委員会

- ・農薬誌第39巻1号，JPS第39巻1号の発刊の報告があった。

- ・平成26年度の投稿審査状況について報告があった。

4. 環境委員会

- ・農薬の理解推進に向けた活動についてのワーキンググループ（WG）の設立について報告があった。
- ・平成26年度も実習形式のセミナーを開催する予定であり，出張セミナー等の実施も行う予定である。

5. 将来計画委員会

- ・活動状況について説明があった。

6. ホームページ委員会

- ・活動状況について報告があった。

7. 学会賞受賞者選考委員会

- ・平成26年度学会賞受賞者選考委員会の審査状況について紹介があった。

8. 国際学会等の協賛について

- ・平成26年6月27日（金）に大阪大学コンベンションセンター（大阪府吹田市）で開催予定の構造活性フォーラム2014，平成26年10月27日（火）～30日（金）につくば国際会議場エポカルつくば（茨城県つくば市）で開催予定の第11回エコバランス国際会議を協賛することを承認した。

9. 日本農学会関連

- ・平成26年度より役員が交代し，三輪睿太郎会長，會田勝美副会長，西澤直子副会長の体制となった。
- ・平成26年度は，日本農学会大会（4月5日），日本農学会シンポジウム（10月4日）が開催予定である。

10. 国際学会の渡航費補助について

- ・2014年8月にサンフランシスコで開催される第13回農薬化学国際会議（IUPAC 2014）の渡航費補助申請状況について報告があった。
- ・2015年8月にベルリンで開催される第18回国際植物保護会議（IPPC）参加者に対する渡航費補助について検討した。

11. 役員・評議員選挙について

- ・平成26年度に実施される役員・評議員選挙の選挙管理委員として清家伸康氏，梅村賢司氏，伊藤晋作

- 氏が承認された。
- ・選挙に関わる規定等を確認し、選挙日程を検討した。
12. 第40回記念大会について
- ・第40回記念大会の予定について佐藤大会実行委員長より報告があった。平成27年3月18日(水)～20日(金)に玉川大学(東京都町田市)において開催する予定である。
 - ・記念事業として、記念講演、既刊学会誌等のアーカイブ化、国際学会参加渡航費補助を実施することが決定した。
 - ・記念事業及び研究者の海外派遣助成のための企業または個人からの寄付について検討した。
13. 入退会の報告(平成26年2月1日～平成26年2月28日)
- ・入退会が承認された。入会は正会員6名、学生会員5名、海外会員2名。退会は正会員3名、団体会員1件。
14. その他
- なし

平成26年度第1回常任評議員会議事録

日 時：平成26年5月17日(土) 13:00～18:00

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：会長、副会長、常任評議員 計13名(欠席1名)

議 事：

I. 平成26年度第1回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

1. 財務関係

- ・平成26年度収支の現状(1月1日から5月14日まで)について報告があった。

2. 編集委員会

- ・JPS第39巻2号の発刊について報告があった。
- ・平成26年度の投稿審査状況について報告があった。
- ・論文賞の選考スケジュールについて説明があった。

3. 環境委員会

- ・平成26年度の活動状況について説明があった。
- ・平成26年度も2回の残留農薬分析セミナーを開催予定である旨説明があった。
- ・農薬の理解促進WGの活動状況について報告があった。

4. 将来計画委員会

- ・活動状況について説明があった。

5. ホームページ委員会

- ・平成26年度の活動状況について説明があった。

6. 学会賞受賞者選考委員会

- ・平成27年度学会賞の選考スケジュールについて説明があった。

7. 学術小集会関係

- ・今後の学術小集会運営について検討した。会計監査の指摘を踏まえて、収支報告書の書式の統一を検討する。

8. 植物保護科学連合、昆虫科学連合

- ・平成26年度の日本学術会議シンポジウム等の活動状況について説明があった。
- ・昆虫科学連合関係の日本学術会議公開シンポジウム「昆虫における刺激の受容とその反応」が7月26日に開催される予定で、当学会からの推薦で太田広人氏(熊本大学)が講演する。
- ・植物保護科学連合の日本学術会議公開シンポジウムは11月下旬の予定である。

9. 農学会関連

- ・平成26年度第1回日本農学会運営委員会(3月5日)について報告があった。
- ・公益財団法人農学会が6月28日に開催予定の平成26年度JABEE農学系分野審査講習会に協賛することが承認された。

10. 国際学会等の協賛について

- ・平成26年9月30日(木)に北とびあ(東京都北区)で開催予定の第29回報農会シンポジウム「植物保護ハイビジョン-2014」を協賛することを承認した。
- ・平成26年10月23日(木)～24日(金)にホテル日航福岡(福岡県福岡市)で開催予定の第31回製剤と粒子設計シンポジウムを協賛することを承認した。

11. 国際学会の渡航費補助について

- ・2014年8月にサンフランシスコで開催される第13回農薬化学国際会議(IUPAC 2014)の参加者に対する渡航費補助の選考を行い、15名に補助を行うことを決定した。

12. 役員・評議員選挙について

- ・平成26年度に実施される役員・評議員選挙の投票方法およびWEB投票システムの開発状況について説明があった。今回からWEB投票システムが導入されるが、希望者は郵送による投票を受け付ける。

13. 入退会の報告(平成26年3月1日～平成26年4月30日)

- ・入退会が承認された。入会は正会員13名、学生会員6名、海外会員1名、団体会員1件。退会は名誉会員1名、正会員7名、団体会員2件。

14. 第39回大会関係

- ・第39回大会の収支について報告があった。また、

他学会からの参加者は、植物病理学会8名、応用動物昆虫学会7名、植物化学調節学会7名であった。

- ・技術士試験対策セミナーについて報告があった。

15. 第40回記念大会関係

- ・大会の準備状況について説明があった。
- ・記念事業として、記念式典、記念講演および既刊学会誌等のアーカイブ化について検討した。関連して、既刊出版物の著作権移譲手続きについて検討した。
- ・企業と個人からの寄付についてスケジュール等を検討した。

16. その他

なし



写真1 シンポジウム会場

日本農薬学会第39回大会報告

日本農薬学会第39回大会は去る3月13日（木）～15日（土）の間、京都大学において開催されました。京都での開催は実に25年ぶりのことでした。正会員、名誉会員、終身会員、維持会員、学生会員に加え、関連学会の方々（植物化学調節学会7名、日本応用動物昆虫学会7名、日本植物病理学会8名）や非会員の方々（125名）の参加があり、参加者総数は約530名を数えました。

初日の総会は、京都大学百周年記念時計台記念館で行われ、総会終了後に、学会賞受賞者講演（5題）と特別講演（2題）が行われました。第2～3日は京都大学農学部にて会場を移し、午前中にシンポジウム（2テーマ）、午後から一般講演（117題）、昼食時にランチョンセミナー（6題）が行われました。いずれの会場も大勢の参加者による活発な討論がなされました。特に、300名収容の大講義室で行われたシンポジウムは、2日とも立ち見が出る程の盛況ぶりであり、講演に真剣に耳を傾ける参加者の姿が印象に残りました。シンポジウム会場の正面で企業展示（7社）を行いました。場所の制約上、ブースが狭くなってしまったことをお詫びしなくてはなりません。大会準備中、ランチョンセミナーおよび企業展示に関して多数のお問い合わせをいただきましたが、会場や時間の制約のためお断りせざるを得ない状況でした。



写真2 学会賞受賞者（後段右端 浅見会長）

第39回大会（京都大会）を成功裏に終えることができました。ご協力を賜りました参加者各位、特別講演やシンポジウム講演をお引き受けいただいた方々、ならびに広告等でご協力を賜りました企業各社に厚くお礼申し上げます。最後に、大会運営を支えていただいた組織委員各位、学生諸君に心からお礼申し上げます。

日本農薬学会第39回大会 組織委員会委員長
三芳秀人（京都大学）

日本農薬学会第39会大会 収支報告書

科 目	金額 (円)	備 考		
収入の部				
大会参加費	2,803,000	有料参加者数	大会	懇親会
懇親会参加費	1,435,500	正会員	280	209
		非会員	109	51
		学生会員	55	30
		合計	454	290
広告収入	1,050,000	25件		
企業展示開催費	345,000	7件		
ランチョンセミナー開催費	1,500,000	6件 (弁当代含)		
雑収入	57	預金利息		
収入合計	7,133,557			
支出の部				
大会運営費	411,801	会場設営, 機材, 看板等		
講演要旨集印刷代	441,000	675部		
懇親会費	1,982,750	総会当日 (3/13)		
チケット作成費	1,512	ランチョンチケット		
事前申込システム管理費	589,470	トップツアー (消耗品購入費含む)		
弁当代	885,150	大会スタッフ, ランチョンセミナー		
謝金・旅費	170,580	シンポジウム講師 (バイオサイエンス分は含まず)		
通信・郵送費	12,142			
運営委員会経費	195,340			
アルバイト雇用費	561,000	31名		
過払者への返金	4,000	学生会員2名		
会場使用料	607,813	時計台記念館	396,900円	
		農学研究科総合館	210,913円	
雑支出	5,343	振込手数料 (計11件)		
	315	両替手数料		
支出合計	5,868,216			
収支差額	1,265,341			

※ 預金通帳残高 2,115,342円 (農薬学会準備金850,000円含む)

全残額を学会へ返金 (2014/5/1 手数料864円含む)

会 員 異 動

(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

入 会

正会員

関口 夏恵 波田野 未由来 田口 浩平 岸川 英敏
 福岡 千恵 矢野 佳子 石井 貴広 富岡 淳志
 山下 真生 小松 健 水上 智道 児玉 聖一郎
 泉津 弘佑 本田 卓 DANG Quoc Thuyet
 小野崎 保道 徳永 恵津子 篠原 菜穂子 村松 良則

学生会員

小坂 亜弓 三木 祐子 南 沙紀 村木 優太
 藤原 敏美 森田 遼 杉本 士朗 阪森 宏治
 須藤 菜那 西口 沙也加 眞鍋 陽平

海外会員

Eissa, Fawzy Ismail
 Zidan, Nour El-Hoda Abd El-Wadood
 Cao Haiqun

団体会員

東京都市場衛生検査所

(受付順)

退会

名誉会員

松中昭一

正会員

今澤 剛 鈴木 将人 赤川 弘明 新倉 直子
山本 新也 佐藤 良 下山 晃 生田 潤子
鈴木 大悟 飯塚 智美

団体会員

千葉県立東部図書館
新潟県立図書館

福島県農業総合センター

「技術士」資格取得のお勧め

技術士とは、文部科学省の登録を受け、技術士の名称を用いて、科学技術の高度な専門的応用能力を必要とする事項について、計画・研究・設計・分析・試験・評価、またはこれらに関する指導業務を行う者をいいます。

技術士は科学技術のコンサルタントです。技術に関する研究・開発・設計・評価の指導や相談、製品の品質や製造工程の効率改善、プロジェクト計画の策定や管理、事故の原因調査や損害査定などを行います。

(「技術士とは」(社)日本技術士会 Webサイトより)

技術士には、農業部門など21の部門があり、農業部門には「畜産」「農芸化学」「農業土木」「農業及び蚕糸」「農村地域計画」「農村環境」に加えて、平成16年度から「植物保護」が新設されました。

日本農薬学会はこれを受けて、日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本雑草学会、植物化学調節学会などと連携して、「技術士に関する委員会」を設置し、学会員の技術士(農業部門・植物保護)の国家資格の取得推進を目指して活動を行ってきました。そして平成20年4月からは名称を「技術士育成推進委員会」に変更して、技術士(農業部門・植物保護)の育成と社会での活躍を支援しています。会員の皆様には、技術士試験に積極的にチャレンジしていただき、本学会から多くの技術士が誕生することを期待しています。

技術士合格者

平成25年度は、技術士第二次試験(農業部門・植物保護)に、日本農薬学会から、片井祐介さん(静岡県農林技術研究所)、今瀧博文さん(シンジェンタジャパン株式会社)、およ

び堅石秀明さん(株式会社クレハ)が見事合格されました。平成26年3月現在、合格者は累計で82名となりました。

平成26年度の技術士第一次試験は、平成26年10月13日(月・祝)に行われます。技術士第二次試験は、既に平成26年8月3日(日)に行われておりますが、毎年一回、8月上旬に実施されております。尚平成25年度より、第一次試験の共通科目と第二次試験の技術的体験論文が廃止されるなどの変更がなされております。詳細は日本技術士会のホームページ(<http://www.engineer.or.jp/>)をご覧ください。

〈参考〉

(はじめに)

平成16年4月1日、技術士(農業部門・植物保護)が誕生した。それ以来、日本農薬学会、日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本雑草学会、植物化学調節学会は委員会を設置し、技術士試験の受験奨励を行うとともに技術士(農業部門・植物保護)の社会での活躍の促進について積極的に取り組んできた。技術士(農業部門・植物保護)が社会で活躍するに当たり、どのような知識、技術を有する必要があるのか具体的に検討し、以下のように取りまとめた。これらの事項を習得した技術士(農業部門・植物保護)が社会で活躍し貢献することを期待する。

(技術士の資質と責務)

- 食料、農業、農村に関する幅の広い知識
- 植物(作物・樹木等)の病害、虫害、雑草の診断や同定に関する知識と技術
- 病害、害虫、雑草の発生生態と防除に関する知識と技術
- 病害、害虫、雑草の総合防除等に関する知識と技術
- 農薬取締法、農薬登録のしくみ、農薬の安全性に関する知識
- 農薬の種類、作用機構に関する知識
- 農薬の使用方法に関する知識と技術
- 作物の栽培・生産・貯蔵に関する知識と技術
- 遺伝子組換え技術に関する知識
- 食品の安全に関する知識
- 環境保全に関する知識
- 日本技術士会が定めた技術士倫理要綱および技術士ビジョン21に記載されている技術士の倫理や役割・義務・責任の遵守。

(技術士育成推進委員会)

日本農薬学会、日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本雑草学会、植物化学調節学会の5学会が設置した委員会である。

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催，共催，協賛する会議等

2014年

9月

1日(月) 日本食品衛生学会 第17回特別シンポジウム開催のお知らせ

主催：日本食品衛生学会

会場：食品衛生センター 5階講堂 [〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-6-1]

U R L : <http://www.shokuhineisei.jp/meeting/histry02.html#s17>

11日(木)~12日(金) 第34回農薬製剤・施用法研究会

主催：日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会

会場：神戸国際会議場国際会議室 [〒850-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai34.html>

12日(金) 残留農薬分析セミナー 2014 (関西)

主催：日本農薬学会

会場：近畿大学農学部 [〒631-8505 奈良県奈良市中町3327-204]

U R L : <http://pssj2.jp/overview/z-sem14.html>

24日(水)~28日(日) 第12回国際シトクロムP450 シンポジウム「生物多様性とバイオテクノロジー」

主催：国際シトクロムP450 シンポジウム京都大会組織委員会

会場：京都市国際交流協会 [〒606-8536 京都府京都市左京区粟田口鳥居町2-1]

U R L : <http://www.p450kyoto2014.com/index.php>

30日(火) 第29回報農会シンポジウム『植物保護ハイビジョンー2014』 激動する農業環境における革新的技術と経営的評価

主催：公益財団法人 報農会

会場：「北とぴあ」つつじホール [〒114-8503 東京都北区王子1-11-1]

U R L : <http://www.honokai.org>

10月

1日(金) EBC (Evidence-based Control) 研究会ワークショップ2014

主催：EBC研究会

会場：JAビル32階 3202・3203会議室 [〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1]

U R L : <http://pssj2.jp/calendar/2014/EBC2014.pdf>

16日(木)~17日(金) 第37回農薬残留分析研究会

主催：日本農薬学会 農薬残留分析研究会

会場：仙台国際センター [〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山無番地]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanry37.html>

18日(土)~19日(日) 植物化学調節学会第49回大会

主催：植物化学調節学会

会場：京都大学農学部 [〒606-8502 京都府京都市左京区北白川追分町]

U R L : <https://www.jsrjp.org/category/calendar/years>

23日(木)~24日(金) 第31回製剤と粒子設計シンポジウム

主催：粉体工学会・製剤と粒子設計部会

会場：ホテル日航福岡 [〒812-0011 福岡県福岡市博多駅前2-18-25]

U R L : http://www.ppd-gifu.com/php_common/event.php?cate=02

27日(月)~30日(木) 第11回エコバランス国際会議

主催：日本LCA学会

会場：つくば国際会議場 [〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3]

U R L : <http://ilcaj.sntt.or.jp/EcoBalance2014/index.html>

11月

4日(火)~5日(水) 第55回機器分析講習会 第3コース

主催：日本分析化学会関東支部

会場：島津製作所東京支社 [〒101-8448 東京都千代田区神田錦町1-3]

U R L : <http://www.jsac.jp/~kanto/seminor/kiki/2014kiki55-3.htm>

6日(木)~7日(金) 第29回農薬デザイン研究会

主催：日本農薬学会 農薬デザイン研究会

会場：ホテルニューアカオ [〒413-8555 静岡県熱海市熱海1993-250]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/design/design29.html>

12日(水) 残留農薬分析セミナー 2014 (関東)

主催：日本農薬学会

会場：明治薬科大学剛堂会館 [〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-27]

U R L : <http://pssj2.jp/overview/z-sem14.html>

13日(木)～14日(金) 第42回構造活性相関シンポジウム
主催：日本薬学会構造活性相関部会
会場：くまもと森都心プラザ [〒860-0047 熊本県熊本市西区春日1-14-1]

U R L : <http://www.qsarj.org/42sympo/index.html>

15日(土)～16日(日) 第14回糸状菌分子生物学コンファレンス

主催：糸状菌分子生物学会
会場：東北大学川内北キャンパス [〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41]

U R L : http://www.biochem.osakafu-u.ac.jp/~fmbjsj/toppage_j.html

20日(木)～21日(金) 第32回農薬環境科学研究会

主催：日本農薬学会 農薬環境科学研究会
会場：ホテルアンピア松風閣 [〒425-0012 静岡県焼津市浜当日海岸通り星ヶ丘]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/kankyo/kanky32.html>

24日(月)～26日(水) International Conference of Asian Environmental Chemistry 2014

主催：日本環境化学会
会場：Chulabhorn Research Institute [54 Kamphaeng Phet 6 Talat Bang Khen, Lak Si Bangkok 10210, Thailand]

U R L : <http://www.prime-pco.com/icaec2014/index.html>

12月

5日(金) 農薬バイオサイエンス研究会シンポジウム

主催：日本農薬学会 農薬バイオサイエンス研究会
会場：神戸大学農学部 [〒657-8501 兵庫県神戸市六甲台町1-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/biosci/biosci12.html>

8日(月) 第22回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主催：日本農薬学会 農薬レギュラトリーサイエンス研究会
会場：東京農業大学百周年記念講堂 [〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/regula/regula22.html>

2015年

3月

18日(水)～20日(金) 第40回日本農薬学会大会

主催：日本農薬学会
会場：玉川大学 [〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1]

U R L : <http://pssj2.jp/congresses/thisyear.html>

8月

24日(月)～27日(木) 第18回国際植物保護会議 (IPPC2015)

主催：International Association for the Plant Protection Sciences (IAPPS)

会場：Free University Berlin [Henry Ford Building, Garystraße 35, 14195 Berlin-Dahlem, Germany]

U R L : <http://www.ippc2015.de/general-information/welcome-note/>

学会主催会議等の詳細

第34回農薬製剤・施用法研究会

主催：日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会
協賛：農薬機械学会, 日本雑草学会, 紛体工学会, 日本化学会, 高分子学会, 色材協会, 日本油化学会(予定)

日時：平成26年9月11日(木)～12日(金)

会場：神戸国際会議場国際会議室 [〒850-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1]

TEL: 078-302-5200 FAX: 078-302-6485

<http://kobe-cc.jp/>

定員：250名

U R L : <http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai34.html>

プログラム：

9月11日(木) 13:00～17:30

(特別講演1)「Integrating Innovation: Novel Approaches to Developing New Products」

Gregory J. Lindner (Croda Inc Crop Care, USA)

(技術研究発表-1) 講演時間1件あたり20分

(特別講演2)「医薬品の放出制御技術—ナノ粒子をビルディングブロックに用いた微粒子コーティング製剤を中心に」

市川 秀喜 (神戸学院大学)

(ポスターセッション)

〈懇親会 18:00～20:00 (ポートピアホテル)〉

9月11日(金) 9:00～16:00

(特別講演3)「粉じん爆発について」

飯塚 義明 ((有) PHA コンサルティング)

(技術研究発表-2) 講演時間1件あたり20分

(特別講演4)「粉粒体の充填性や流動性に及ぼす構成粒子物性の影響」

鈴木 道隆 (兵庫県立大学)

(技術研究発表-3) 講演時間1件あたり20分

(フォーラム) 海外出張報告等

参加費：

- (1) 6月13日までに申込みの早期割引料金
①日本農薬学会及び協賛学会（協会）会員の場合：
17,000円（内 研究会費 12,000円，懇親会費 5,000円）
*法人会員は割引の対象となりません。悪しからずご了承ください。②上記学会の会員でない場合：
18,000円（内 研究会費 13,000円，懇親会費 5,000円）
- (2) 6月14日～当日参加申込みの通常料金
21,000円（内 研究会費 16,000円，懇親会費 5,000円）
尚，一日のみの参加，及び，懇親会の参加有無にかかわらず，参加料金は一律（研究会費+懇親会費）です。

参加申込み方法：

所定の〔参加申込書〕を研究会ホームページ (<http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai34.html>) からダウンロードし，所属，氏名（フリガナ），連絡先等の必要事項を明記の上，平成26年6月13日（金）までにファックス，E-mailまたは郵送で下記にお申込み下さい。なお，発送事務等の省力化のため，会社・事業所・研究機関等の単位で代表者を取りまとめの上，一括してお申込み下さるようお願い致します。なお，発表者も必ず参加申込みをお願いします。大会運営の都合上定員（250名）になり次第，締め切らせていただきますので，お早目の申込みをお願いします。申込み期限を過ぎますと，早期割引料金が適用されませんので，ご注意ください。

- ・申込み先：ネオライト興産（株）内
第34回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局
木村 健市（キムラ ケンイチ）宛
〒546-0002 大阪市東住吉区杭全7丁目4番16号
TEL: 06-6714-3651 FAX: 06-6714-3675
E-mail: seizai34@neoraito.co.jp

参加費振込：

参加申込み後は，下記振込み口座に参加費をお早めに振込み頂きますようお願い致します。例年よりもシンポジウム開催日時が早まっておりますので，お早目の振込みを重ねてお願い申し上げます。尚，一度振込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承ください。ご入金確認後に，折返し参加申込・入金確認書を送付致します。

〔参加申込書〕（研究会ホームページからダウンロード）にてお受け取り方法をご指定ください。（E-mail, FAX又は郵送）。尚，参加申込・入金確認書をもって領収書とさせていただきます。

- 振込み先：三菱東京UFJ銀行 駒込支店（店番号061）
普通 口座番号：0020365
口座名：農薬製剤施用法研究会（ノウヤクセイ

ザイ セヨウホウ ケンキウカイ)

技術研究発表・ポスターセッション申込み：(終了しました) 宿泊等：

事務局での宿泊手配は行っていません。ご出席の皆様各自にてホテル等ご予約をお願い致します。また，2日目の昼食は，事務局が弁当を用意いたします。

事務局：

〔シンポジウム全般に関するお問合せ〕

住友化学（株）健康・農業関連事業研究所製剤開発グループ内

第34回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

石本 泰彦（イシモト ヤスヒコ）宛

〒665-8555 兵庫県宝塚市高司4-2-1

TEL: 0797-74-2024（内線3250） FAX: 0797-74-2125

E-mail: seizaimadoguchi2014@ya.sumitomo-chem.co.jp

〔参加申込，参加費に関するお問合せ〕

ネオライト興産（株）内

第34回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

木村 健市（キムラ ケンイチ）宛

〒546-0002 大阪市東住吉区杭全7丁目4番16号

TEL: 06-6714-3651 FAX: 06-6714-3675

E-mail: seizai34@neoraito.co.jp

〔技術研究発表・ポスターセッションに関するお問合せ〕

日本農薬（株）研究開発本部総合研究所製剤ユニット内

第34回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

高島 尚彦（タカトリ ナオヒコ）宛

〒586-0094 大阪府河内長野市小山田町345

TEL: 0721-56-9000 FAX: 0721-56-9090

E-mail: seizai-present@nichino.co.jp

残留農薬分析セミナー 2014

主催：日本農薬学会

日時：平成26年9月12日（金）（関西）

平成26年11月12日（水）（関東）

URL：<http://pssj2.jp/overview/z-sem14.html>

恒例となりました残留農薬分析セミナーは，今年度も下記に示しましたように2回の開催を予定しています。今年度のセミナーは，関西では昨年と同様に講義，実習，総合討論の3部構成で進めます。関東では実習の代わりにグループ討議という新しい試みを取り入れた3部構成で進めます。講義においては，残留農薬分析に係る法律，農薬残留分析技術の基礎など幅広い情報提供を予定しています。また，総合討論では，皆様の日頃の疑問やお悩みに応えることを主目的にしておりますので，皆様ふるってご参加下さい。なお，学会webサイトを順次更新して詳細をお知らせしてまいりますので，

ご参照下さい。

開催時期と内容：

【関西】

- ・開催場所：近畿大学農学部 [〒631-8505 奈良県奈良市市町3327-204]
U R L : <http://nara-kindai.univ.jp/01gakubu/access.html>
- ・開催日時：平成26年9月12日（金） 10～17時
- ・定員：16名まで（先着順，最終申込締切：9月5日，開催当日での申込・参加はできません。）
- ・内容（プログラムの詳細は後日更新いたします）
 1. 残留農薬分析に係る法律と背景
 2. 残留農薬分析の概要と留意点（前処理を中心に）
 3. 前処理カートリッジの最適化の考え方と上手な使い方
 4. 残留農薬分析実験の内容と進め方
 5. 残留農薬分析実験
初心者を対象にした「残留農薬等分析法検討会による農薬等ポジティブリスト制対応法のGC-MSによる試験法」
 6. 総合討論

【関東】

- ・開催場所：明治薬科大学剛堂会館 [〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-27]
U R L : https://www.my-pharm.ac.jp/koho/guide_goudou_k.html
- ・開催日時：平成26年11月12日（水） 10～17時
- ・定員：36名まで（先着順，最終申込締切：11月5日，開催当日での申込・参加はできません）
- ・内容（予定）：
 1. 残留農薬分析に係る法律と背景
 2. 残留農薬分析の概要と留意点
 3. 残留農薬分析に関するグループ討議
 4. 残留農薬分析の新技术紹介
 5. 総合討論

参加費：

- ・関西：学会員 10,000円 非会員 23,000円
学生 5,000円
- ・関東：学会員 7,000円 非会員 20,000円
学生 3,000円

参加費（含むテキスト代，昼食代）は当日お支払いください。

事前または当日農薬学会に入会（年会費8,000円）される場合は学会員の参加費が適用されます。

学会員の扱いは個人会員に限っており，団体会員は対象になりませんのでご承知おきください。また，個人会員の

方におかれましても2014年用の学会費が納入されていることが必要ですので，もし納入されておられない場合には開催日までに納入されますようお願いいたします。

セミナーでは「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ 改訂3版2012」（日本農薬学会より出版）をテキストとして使用します。尚，開催日当日にテキストも販売しますので，追加購入を希望される方はお求め下さい（1冊2,500円）。ご参加の際には，関西では実技ができる服装のご準備をお願いします。なお，関東における参加は平服で構いません。

申し込み先及び問い合わせ先：

日本農薬学会宛に（下記 E-mailあるいはFAX），『参加希望開催日と場所，氏名，所属，連絡先（E-mailアドレス，TEL番号，FAX番号），本分析セミナーへの参加回数（はっきりしない場合には，おおよその数で構いません）』をご連絡ください。

日本農薬学会 E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp
FAX: 03-5980-0282

不明点等につきましても上記にお問い合わせください。

第37回農薬残留分析研究会

- 主催：日本農薬学会 農薬残留分析研究会
- 日時：平成26年10月16日（木）～17日（金）
- 会場：仙台国際センター [〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山無番地]
TEL: 022-265-2211 FAX: 022-265-2485
<http://www.sira.or.jp/icenter/>
- 交通：JR仙台駅より徒歩30分または市営バス10分（博物館・国際センター前下車）。
- U R L : <http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu37.html>

プログラム：

- 10月16日（木）
 - 13:00～13:05 開会挨拶
 - 13:05～15:05 シンポジウム「残留農薬分析の現状について」
3講演（衛生研究所，農薬登録の分析機関などから演者を依頼）
 - 15:05～16:05 企業セミナー「定性分析について（仮）」
 - 16:05～17:10 ポスターセッション
 - 17:10～17:50 特別講演「宮城県から1題・震災関係の話題」
 - 18:00～20:00 情報交換会
- 10月17日（金）
 - 9:00～10:00 ポスターセッション

10:00～11:30 ポスター発表の中から口頭発表（6題）
11:30～11:35 閉会挨拶
12:00～16:00 エクスカーション（50名程度，先端プロ
IPM現地実証圃場見学等）

参加，ポスター発表および企業展示の申し込みは8月頃に受け付ける予定です。ポスター発表の要旨は9月上旬の締め切りを予定しています。皆様，奮ってご参加・ご発表くださいますようお願い申し上げます。

第29回農薬デザイン研究会

主催：日本農薬学会 農薬デザイン研究会
日時：平成26年11月6日（木）～7日（金）
会場：ホテルニューアカオ [〒413-8555 静岡県熱海市熱海1993-250]
TEL: 0557-82-5151
<http://www.i-akao.com/access/>
交通：JR熱海駅より送迎バス約10分
URL：<http://pssj2.jp/committee/design/design29.html>
テーマ：「農薬デザインの新たな領域を目指して」

プログラム：

11月6日（木）（1日目）
12:00～ 受付
13:00～13:10 開会の挨拶
13:10～14:05 講演1 「芳香環上への含フッ素官能基導入法の開発とその応用」
井上宗宣 相模中央化学研究所
精密有機化学グループ
14:05～14:45 講演2 「新規除草剤イプフェンカルバゾンの創製」 北興化学工業
14:45～15:05 休憩（チェックイン，ポスター発表準備）
15:05～16:00 講演3 「有機合成化学を基盤として生命科学に挑む」
袖岡幹子 理化学研究所
袖岡有機合成化学研究室
16:00～16:50 ポスターショートレビュー
16:50～17:20 休憩（ポスター発表準備）
17:20～18:20 ポスターセッション
18:20～19:30 休憩
19:30～21:30 懇親会

11月7日（金）（2日目）
7:00～8:45 朝食
9:00～9:40 講演4 「IUPAC国際農薬化学会議参加報告」 日本曹達
9:40～10:35 講演5 「植物病原菌の情報伝達系：創薬

標的としての可能性」
田中千尋 京都大学大学院農学研究科
地域環境科学専攻

10:35～10:55 休憩
10:55～11:50 講演6 「天然有機化合物を基盤とした新しい創薬研究」
砂塚敏明 北里大学北里生命科学研究
生物有機化学研究室
11:50～12:00 閉会の挨拶

ポスター発表：

合成，生物活性，構造活性相関を中心に農薬研究／開発に関わるポスター発表を募集します。

ポスター発表申込み：

発表演題（氏名と所属を明記）と要旨（A4，1枚，Wordファイル及びPDFファイル）をE-mailにてお送りください。平成26年8月22日（金）締め切り。

*尚，今回もポスター発表者にはショートレビューをお願いします。詳細は締め切り後，発表者に直接ご連絡いたします。

参加登録費：（要旨集代，懇親会費，宿泊費，朝食代を含む。）

一般	25,000円（非会員 30,000円）
公的研究機関	20,000円（非会員 25,000円）
学生	10,000円（非会員 12,000円）

参加申込み締め切り：

平成26年9月26日（金）

申込み方法：

官製はがき，FaxまたはE-mailで氏名，所属，性別，年齢，連絡先（住所・電話・Fax・E-mail）及び会員・非会員の別を明記し，下記にお申込みください。

申込み先：

第29回農薬デザイン研究会事務局
〒250-0280 神奈川県小田原市高田345
Tel: 0465 (42) 3511 Fax: 0465 (42) 2180
E-mail: 29-pesticide-design@nippon-soda.co.jp

送金方法：

参加登録費は下記口座に申込み締め切り前にご入金ください。

横浜銀行鴨宮支店（店番号725）

口座番号：普通 6040408

口座名義：三谷晃（みたにあきら）

※同一の公的機関，企業で複数名参加の際は，全員の所属，氏名を明記の上，1枚の振込用紙にまとめてご送金ください。尚，勝手ながら振込用紙の控えをもって領収書とさせていただきます。

※申込み締め切り後のキャンセルは受付致しかねますの

で、ご了解ください。
 ※宿泊に関しては基本的に3~4名の相部屋となります。
 部屋割りは勝手ながら性別、年齢を考慮して事務局で
 決めさせていただきます。ご了承ください。
 ※ご不明な点がございましたら事務局までE-mailにてお
 問い合わせください。

第32回農薬環境科学研究会

主 催：日本農薬学会 農薬環境科学研究会
 日 時：平成26年11月20日(木)~21日(金)
 会 場：ホテルサンピア松風閣 [〒425-0012 静岡県焼津
 市浜当日海岸通り星ヶ丘]
 TEL: 054-628-3131 FAX: 054-628-5166
<http://www.syofukaku.com/>
 交 通：JR静岡駅南口下車，シャトルバス（無料，約30分，
 11:45および12:00発予定）JR焼津駅下車，タク
 シー又はシャトルバス（随時）で約8分
<http://www.syofukaku.com/access/index.html>
 定 員：100名程度
 U R L： <http://pssj2.jp/committee/kankyo/kanky32.html>
 テーマ：陸域生態系と農薬

プログラム：

11月20日(木) (1日目)
 13:00~13:10 開会挨拶
 13:10~13:55 特別講演「昆虫神経系をターゲットとす
 る殺虫剤の活性発現機構と受容体の多様
 性」 松田 一彦 (近畿大学)
 13:55~14:35 「A comparison of environmental testing
 requirements between the EU and Japan」
 Thorsten Behsen (LKC Switzerland)
 14:35~15:15 「Birds and Pesticides in U.S. Agricultural
 Ecosystems」
 Hank Krueger (Wildlife International, Ltd.)
 15:15~15:30 (休 憩)
 15:30~16:10 「農薬が昆虫類に与える影響と生物多様性
 指標」
 田中 幸一 ((独) 農業環境技術研究所)
 16:10~16:50 「農薬と水田の絶滅危惧植物」
 池田 浩明 ((独) 農業環境技術研究所)
 16:50~18:00 ポスター発表
 18:30~20:30 情報交換会(懇親会)
 <11月21日(金)：2日目>
 9:00~9:40 「農薬の鳥類へのリスクとその評価・管理
 手法」 元場 一彦 (日本農薬株式会社)

9:40~10:20 「土壌および葉面の微生物フローラと病害
 防除への活用について」
 對馬 誠也 ((独) 農業環境技術研究所)
 10:20~11:00 「農薬が茶園の生物相に及ぼす影響 (静岡
 県の事例)」
 外側 正之 (静岡県農林技術研究所
 茶業研究センター)
 11:00~11:30 総合討論
 11:30~11:40 閉会挨拶
 午後(11:50発) エクスカーション (茶業研究センター等
 を見学, 19:00頃に静岡駅解散予定)

※時間、演題は一部変更になる場合があります。

参加費：

(懇親会費, 宿泊費, 朝食代を含む)
 農薬学会員 21,000円
 非学会員 25,000円
 学 生 3,000円
 エクスカーション参加費 3,500円 (昼食代を含む)

参加申込方法：

研究会ホームページ (<http://pssj2.jp/committee/kankyo/kanky32.html>) から参加申込書をダウンロードの上、必要事項を記入し、2014年10月31日(金)までに、メールまたはFAXにて下記宛へお申し込みください。また、参加費は参加申込書に記載された銀行口座に11月7日(金)までにお振込み下さい。

参加申込先：第32回農薬環境科学研究会事務局
 クミアイ化学工業株式会社 池田光政 宛
 E-mail: mi-ikeda@kumiai-chem.co.jp
 FAX: 0537-62-0275

ポスター発表申込み方法：

研究会ホームページ (<http://pssj2.jp/committee/kankyo/kanky32.html>) からポスター発表申込書をダウンロードのうえ、必要事項を記入して2014年10月3日(金)までに、また、発表要旨 (Word) は2014年10月17日(金)までに、メールにて下記宛へお申し込みください。また、若手の発表者を対象にポスター賞を授与いたします。

発表申込先：第32回農薬環境科学研究会事務局
 クミアイ化学工業株式会社 池田光政 宛
 E-mail: mi-ikeda@kumiai-chem.co.jp

開催幹事(順不同)：

池田 光政 (クミアイ化学工業株式会社)
 河原崎 海 (株式会社 エコプロ・リサーチ)

問い合わせ先：

クミアイ化学工業株式会社 生物科学研究所 環境科学研究室 池田 光政
 〒436-0011 静岡県掛川市満水276

TEL: 0537-23-6721 FAX: 0537-62-0275
E-mail: mi-ikeda@kumiai-chem.co.jp

第22回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主催：日本農薬学会 農薬レギュラトリーサイエンス研究会
日時：平成26年12月8日（月）
会場：東京農業大学百周年記念講堂 [〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1]
URL：<http://pssj.jp/committee/regula/regula22.html>
テーマ：農薬散布区への散布後の立入り及び作業員暴露を考
える

プログラム（予定）：

- 1) 十文字学園女子大学大学院・田中茂氏
農薬散布における作業員暴露リスク低減のための労働衛
生保護具の有効性と適正使用について
- 2) 検討中：農業現場での散布と暴露の実態・対策
- 3) (一財) 残留農薬研究所 理事長・原田孝則氏

海外での作業員及びリエントリーでの暴露評価と
AOEL設定について

- 4) 農林水産省大臣官房政策課調査官 兼 消費・安全局農
産安全管理課 松井美樹氏
日本における作業員安全性評価の現状と課題
- 5) 独立行政法人農業環境技術研究所 有機化学物質研究
領域・小原祐三氏
農薬の大気経路の飛散による曝露評価と曝露軽減法に
ついて（案）

参加申し込み：

氏名、所属、懇親会の参加の有無をなるべくメールでご連
絡ください。申し込みをいただきましたら、確認のため参加
申し込み受理しました旨、返信します。

農薬レギュラトリーサイエンス研究会 星野敏明

pssj_reg_science@yahoo.co.jp

ファックスでの連絡は、農薬学会宛（FAX: 03-5980-0282）
をお願いします。

平成27・28年度日本農薬学会役員選挙

次期役員候補者の推薦受付について

本会役員選出規定に基づき、正会員、名誉会員、終身会員、学生会員は次期（平成27年4月1日～29年3月31日）の役員候補者を推薦することができます。推薦する場合は、役員選出規定（特に該当する部分を以下に抜粋しています）をご参照のうえ、候補者名を本年9月20日（土）（必着）までに本会選挙管理委員会に文書で届けて下さい。届出文書様式は任意としますが、必ず推薦者本人の署名捺印を必要とします。なお、会則および規定の全文は会誌第39巻第3号および学会ホームページに掲載していますので、併せてご参照ください。

推薦に際して候補者が会員かどうかをお知りになりたい場合、ホームページから会員名簿を閲覧することができますので、ご利用ください。なお、正確を期したい場合は学会事務局までお問い合わせください。

送付・問い合わせ先：〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

日本植物防疫協会内
日本農薬学会選挙管理委員会
TEL 03 (5980) 0281

学会ホームページ：<http://pssj2.jp/>

会 則（抜粋）

第15条 会長、副会長1名、評議員70名および監事は、正会員、名誉会員、終身会員、学生会員の互選による。

第17条 役員任期は、2年とする。ただし、会長は重任することができない。

役員選出規定（抜粋）

4. 会則第15条および本規定に定める会員とは、役員任期満了の前年の5月31日現在の会員とする。

5. 会員は10名以上の連署により、会長1名、副会長1名、監事2名以内の候補者を推薦することができる。また、会員は評議員候補者2名以内を推薦することができる。

平成27・28年度日本農薬学会役員選挙

「郵送投票」の申請について

平成26年10月に平成27・28年度日本農薬学会役員選挙が実施されます。今回からインターネットを利用して投票するWeb投票システムが導入されます。会員の皆様には大変便利なWeb投票システムを是非ご利用くださいますようお願いいたします。ただし、導入後初めての選挙となる今回は、これまで通りの投票用紙の郵送による投票もできます。郵送での投票をご希望の方は、本号に同封の申請書に必要事項をご記入の上、同封の封筒により選挙管理委員会（農薬学会事務局）宛に、必ず郵送にてご申請ください。FAXやE-mailでの申請は受け付けません。申請書の提出期限は平成26年9月20日（必着）です。

この申請がない場合は、自動的にWebでの投票となります。特に、インターネット環境の整っていない会員の方には、忘れずに郵送による投票のご申請をお願いします。

郵送投票を申請された方には、10月に投票用紙を郵送いたします。平成26年10月11日までに投票用紙がお手元に届かない場合には学会事務局までご連絡ください。

日本農薬学会選挙管理委員会
(学会事務局)
〒114-0015
東京都北区中里2-28-10
Tel: 03-5980-0281

日本農薬学会第40回大会の御案内

広告・展示・ランチョンセミナーの募集について

日本農薬学会第40回大会は、以下の日程・会場で開催されます。

日程：平成27年3月18日（木）～3月20日（土）

会場：玉川大学（東京都町田市）

今大会は40回という節目の大会となります。会員の皆様におかれましては奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。開催要項等の詳細につきましては、学会ホームページおよび次号でお知らせいたします。

また、講演要旨集への広告掲載、展示会への出展、およびランチョンセミナー開催等で本大会へのご支援を賜りたくお願い申し上げます。各応募の詳細および申込先等につきましては学会ホームページでご案内しておりますので、ご参照ください。日本農薬学会大会の成功のため、大会の趣旨にご賛同いただき、ぜひともご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先：TEL: 042-739-8274, FAX: 042-739-8854

E-mail: pssj40taikai@tamagawa.ac.jp

日本農薬学会第40回大会組織委員会委員長
玉川大学農学部
佐藤幸治

日本農薬学会設立40周年記念事業に対する寄付の御願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より日本農薬学会の活動にご指導とご理解を賜り誠にありがとうございますとございます。

さて、日本農薬学会では、平成27年に設立40周年を迎えます節目にあたり、農薬科学分野の研究と産業の益々の発展を目指し、設立40周年記念事業を進めて参ります。

記念事業の第一は、第40回記念大会の開催です。平成27年3月18日～20日に玉川大学にて開催の予定で、設立40周年記念講演会および祝賀会を執り行う予定です。第二は、農薬の研究・開発の利便性を図ることを目的として、本学会の既刊学会誌等を電子書庫として編集して会員に提供します。第三は、国際学会等を通じた国際学術交流を行い、学会活動のグローバル化を促進するため、国際農薬化学会議等への学会員の派遣に対する財政支援を行います。

このような設立40周年記念事業の推進にあたりましては、通常の学会活動資金に加えて新たな財源を必要といたします。その財源を確保すべく当学会個人会員、維持会員、団体会員、その他ご協力いただける方々に寄付を賜りたく、ここに謹んでお願い申し上げます。何卒、記念事業の趣旨にご理解とご賛同並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。つきまして、下記の寄付金要領に従い、ご協賛頂ければ幸いです。

末筆となりましたが、皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

平成26年8月吉日

日本農薬学会
学会長 浅見 忠男

寄付金募集要領

1. 目的：日本農薬学会設立40周年記念事業に対する寄付
2. 寄付金：個人会員 一口 5千円
維持会員・団体会員等 一口 5万円
(一口以上何口でも結構です)
3. 寄付金の振込先：個人会員の皆様は、同封の振込用紙にて下記の銀行口座にお振込み下さい。
三井住友銀行 白山支店 (228)
普通預金 6630502
口座名：日本農薬学会 (ニホンノウヤクガッカイ)
4. 寄付金振込の締切日：平成27年1月31日
5. 事務局：日本農薬学会 事務局
〒114-0015 東京都北区中里2-28-10
日本植物防疫協会内
TEL 03-5980-0281 FAX 03-5980-0282
E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

処暑、早生の稲穂は重く垂れているが、これからの田では防除の実施も見受けられ、夏休みの子供らは未だ盛夏の勢いの虫や魚への影響を気にしている。最近、農薬業界の方に鮎釣りをされることを伺ったが、他にも、専門的な昆虫採集をされる方々にお会いしたことがある。相反しそうな自然派の趣向が、きっと仕事でも良い方向に活かされていることと想像する。こんなところにも、農薬や業界が目指す良い部分を世間にアピールできるヒントがあるかも知れない。

今号では、役員選挙と設立40周年の重要な案内のほか、多数の注目すべき研究集会の紹介があるので参照されたい。

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03 (5980) 0281 FAX: 03 (5980) 0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp